

岩手医科大学高度救命救急センターでの **Biofire** 血液培養パネルの使用による  
感染症治療の治療実態及び有効性に関する観察研究  
(患者さまおよびそのご家族さまへ)

## 1. 研究の対象

2015年1月1日～2024年5月31日に岩手医科大学岩手県高度救命救急センターに救急搬送され、血液培養陽性となった患者さま。

(血液培養陽性とは感染症の疑いのある際に採取した血液を培養してその中に細菌が確認されたものをいいます)

## 2. 研究期間

研究実施許可日～2024年12月31日まで

## 3. 研究目的・方法

岩手医科大学岩手県高度救命救急センターでは、2019年より感染症の原因菌を早期に同定し、適切な治療を行うために血液培養パネルによる検査を導入しております。導入してから原因菌の早期同定により実際に治療方針の変更に至る場合もあります。今回、この検査の有用性について客観的に評価するために本研究を計画しました。

本研究では、岩手医科大学岩手県高度救命救急センターにおいて、感染症の原因菌を早期に発見し、必要な治療をするために、血液培養陽性の患者さんに使用している血液培養パネルが有用かどうかを検討します。

診療録から情報収集を行い、調査項目について確認し入力します。

## 4. 研究に用いる試料・情報

情報：年齢、性別、病名、血液培養パネル結果報告前後の抗菌薬、血液培養パネル結果報告から最終培養報告までの抗菌薬変更の有無、血液培養染色報告時刻、血液培養パネル結果報告時刻、最終培養報告時刻、入院期間、退院転帰、血液培養採取日に最も近い日時の患者さんの呼吸数・意識レベル・収縮期血圧・クレアチニン・ビリルビン・血小板・乳酸

※ 本研究で使用する情報は氏名、生年月日、カルテ番号等、直ちに個人が特定される可能性のある情報は削除し、代わりに個人情報とは無関係の番号を付して加工した状態で取り扱うことにより、患者さんのプライバシーを保護します。なお、この加工した情報と患者さんを照合するための情報(表)を作成しますが、個人情報管理者が厳重に管理します。また、本研究で使用する情報は、研究終了後5年間または結果公表日から3年間のいずれか遅い日まで保管し、保管期間終了後は適切に廃棄します。

※ 上記の情報は、将来別の研究に二次利用する可能性及び他の研究機関に提供する可能性があります。その場合、岩手医科大学ホームページ(実施中の臨床研究に関する情報公開)に新たに計画・実施される研究に関する情報を公開し、お知らせいたします。

## 5. 研究費および利益相反

研究費は救急災害医学講座の講座研究費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係(利益相反)はありません。

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

岩手医科大学岩手県高度救命救急センター 峯田 武典  
〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号  
TEL：019-613-7111（内線 2682）

研究責任者：

岩手医科大学医学部救急災害医学講座 高橋 学

-----以上